

公会計事業別財務書類分析シート

事業類型： 固定資産整備型

決算対象年度： 令和04年度 対象年月： 令和 5年 3月
 会計： 一般会計
 局： 県土整備局
 所属： 県土整備局道路管理課・道路整備課（直通 045-210-6355・6431）
 公会計事業： 道路費

1 主な事業内容

- ・各種道路施設の点検や維持修繕、耐震対策など、適正な維持管理を行う。
- ・通学路の安全対策や歩道の整備、交差点の改良等を行う。
- ・道路の新設、現道の拡幅及び線形改良を行う。
- ・鉄道と道路の平面交差による道路交通障害箇所の立体交差化を図る。
- ・都市計画道路の新設・改良を行う。

2 行政コスト及び純資産変動計算書

(単位：千円)

科目	R02決算	R03決算	R04決算	R02-R03増減率	R03-R04増減率
経常費用	38,564,028	38,571,884	39,159,680	0.0%	1.5%
人件費	2,444,438	2,450,972	2,571,476	0.3%	4.9%
物件費等 ※	33,059,679	33,661,339	34,313,610	1.8%	1.9%
物件費	4,712,481	5,116,792	5,645,720	8.6%	10.3%
維持補修費	7,542,676	7,978,200	8,047,780	5.8%	0.9%
減価償却費	20,773,696	20,542,170	20,616,865	△1.1%	0.4%
移転費用 ※	358,496	308,455	365,794	△14.0%	18.6%
補助金等	195,692	143,877	212,412	△26.5%	47.6%
社会保障給付	-	-	-	-	-
経常収益	972,756	967,337	1,033,458	△0.6%	6.8%
使用料・手数料	829,037	848,408	847,103	2.3%	△0.2%
その他	143,719	118,929	186,355	△17.2%	56.7%
純経常行政コスト(経常収益-経常費用) ①	△ 37,591,271	△ 37,604,547	△ 38,126,222	0.0%	△1.4%
臨時損失	3,256,034	4,608	2,834,864	△99.9%	10,000%以上
臨時利益	-	527,932	180,218	皆増	△65.9%
純行政コスト(①-臨時損失+臨時利益)	△ 40,847,306	△ 37,081,223	△ 40,780,868	9.2%	△10.0%
財源	5,680,501	4,291,149	4,913,136	△24.5%	14.5%
税金等	55,770	28,951	98,829	△48.1%	241.4%
国等補助金	5,624,731	4,262,198	4,814,307	△24.2%	13.0%
本年度差額	△ 35,166,805	△ 32,790,074	△ 35,867,733	6.8%	△9.4%
一般財源充当調整額	54,297,894	54,143,652	57,156,009	△0.3%	5.6%

(注) ※印の低位科目は、内訳を抜粋しているため、合計が一致しない場合がある。

3 貸借対照表

(単位：千円)

科目	R03決算	R04決算	増減率	科目	R03決算	R04決算	増減率
【資産の部】				【負債の部】			
固定資産	627,638,485	615,477,843	△1.9%	固定負債	302,186,608	277,038,550	△8.3%
有形固定資産	627,513,804	615,353,056	△1.9%	県債	300,909,809	275,801,512	△8.3%
事業用資産	658,284	657,273	△0.2%	長期未払金	-	-	-
土地	644,608	644,608	0.0%	退職手当引当金	1,276,799	1,237,038	△3.1%
建物	30,634	30,634	0.0%	損失補償等引当金	-	-	-
建物減価償却累計額	△ 16,958	△ 17,969	6.0%	その他固定負債	-	-	-
工作物	-	-	-	流動負債	30,602,309	22,443,548	△26.7%
工作物減価償却累計額	-	-	-	県債	30,436,712	22,271,518	△26.8%
その他	-	-	-	未払金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	賞与等引当金	165,597	172,030	3.9%
インフラ資産	626,740,692	614,602,801	△1.9%	預り金	-	-	-
土地	188,789,212	191,699,478	1.5%	その他流動負債	-	-	-
建物	15,593,125	15,633,690	0.3%				
建物減価償却累計額	△ 8,491,278	△ 8,929,926	5.2%	負債合計	332,788,917	299,482,098	△10.0%
工作物	1,264,839,300	1,276,388,720	0.9%	純資産合計	294,852,000	315,998,146	7.2%
工作物減価償却累計額	△ 914,106,764	△ 934,181,413	2.2%	負債及び純資産合計	627,640,917	615,480,244	△1.9%
その他	-	-	-				
建設仮勘定	80,117,098	73,992,252	△7.6%				
物品	114,828	92,982	△19.0%				
無形固定資産	117,393	117,474	0.1%				
投資その他の資産	7,288	7,313	0.3%				
流動資産	2,432	2,401	△1.3%				
資産合計	627,640,917	615,480,244	△1.9%				

(注) 負債の部における未払費用、前受金、前受費用は、その他流動負債に含む。

4 事業分析

① 行政コスト計算書及び純資産変動計算書(経常費用の経年比較)

主な増減(R03-R04の比較)は、物件費が5.2億円(10.3%)増加しています。要因としては、埋蔵文化財発掘調査関連の委託費の支出額が増加したことによるものです。

② 貸借対照表(資産の部)

R04決算の内訳は、工作物が3,422.1億円で、資産の55.6%を占めています。そのほか、土地が1,923.4億円、建設仮勘定は739.9億円となっています。

③ 貸借対照表(負債の部)

R04決算の内訳は、県債が2,980.7億円で、負債の99.5%、退職手当引当金が12.4億円で0.4%を占めています。

④ 貸借対照表(純資産合計)

R04決算では、資産合計6,154.8億円から負債合計2,994.8億円を差し引いた3,160.0億円が純資産合計となり、純資産比率(純資産合計/資産合計)は51.3%です。

⑤ 貸借対照表(資産の経年比較)

主な増減(R03-R04の比較)は、建設仮勘定が61.2億円(7.6%)減少しています。要因としては、綾瀬スマートインターチェンジ関連の整備が完了し、建物仮勘定から工作物に振り替えられたことによるものです。

(注1) ②の分析のうち「建物」「工作物」「建設仮勘定」は、事業用資産及びインフラ資産を合算した上で、それぞれ減価償却累計額がある場合はその金額を控除しています。

(注2) ③の分析のうち、「県債」は、固定負債と流動負債を合算した金額です。

(注3) 他の公会計事業で保有する財産や、国、市町村が保有する財産を整備・修繕するために発行した「県債」や「人件費(退職手当引当金等)」が計上されていることなどにより、資産の計上がない、純資産合計がマイナスとなる場合があります。